



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 52 / 2011年2月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第52号をお届けします。今回は、アンテナ・伝播研究専門委員会2011年度新執行部、各種委員会体制、2011年度研究会スケジュール公開のお知らせです。

【1】2011年度アンテナ・伝播研究専門委員会執行部、各種委員会体制

2010年12月16日開催のアンテナ・伝播研究専門委員会で、2011年5月以降の新体制が以下のように承認されました。

新執行部

委員長(新任)	宇野 亨(東京農工大学)	任期:2011年5月～2013年5月
副委員長(新任)	菊間 信良(名古屋工業大学)	任期:2011年5月～2013年5月
幹事(留任)	山口 良(NTTドコモ)	任期:2010年5月～2012年5月
幹事(新任)	石井 望(新潟大学)	任期:2011年5月～2013年5月
幹事補佐(留任)	有馬 卓司(東京農工大学)	任期:2010年5月～2012年5月

各種委員会委員長

論文委員会委員長(留任)	菊間信良(名古屋工業大学)
WS常設委員会委員長(留任)	新井宏之(横浜国立大学)
国際委員会委員長(留任)	宇野亨(東京農工大学)
出版委員会委員長(新任)	庄木 裕樹(東芝)
アンテナの歴史委員会委員長(留任)	牧野滋(金沢工業大学)
表彰委員会委員長(新任)	正源和義(NHK)

【2】2011年度研究会スケジュール公開

2011年度研究会スケジュールを公開しました。 <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>
2011年度も積極的なご投稿をお願いします。また、平成23年度の技術報告の予約価は例年より低廉に設定されており、かつ、技術報告PDFファイル(カラー)のダウンロードという特典がありますので、この機会に是非、AP研技報の年間予約をお願いいたします。

なお、8月AP研究会ですが、竿灯まつりが8/3(水)～6(土)に開催されますので、研究会最終日8/3(水)に秋田市内に宿泊予定の方は、各ホテルの予約開始日(連泊の場合は初日)にご予約されることをお勧め致します。

【3】AP研副委員長の戯言

1年で最も寒い季節を迎えました。今年は山陰や九州でも雪の被害が出ていますが、東京は比較的気温が高く、雪もほとんど降りません。30年近く前、初めて東京の冬を過ごしたときは、毎日晴天が続き、東京には冬はないのかと思いました。あまりにもったいないので、昼休みは職場近くの砧公園を走っていました。今、我が家や近くでは、千両の赤い実とともに、水仙の白い花や椿の赤い花が咲いています。もうすぐ福寿草が咲くと思いますが、名前の響きがよく、春一番を告げる花です。北海道でも雪を溶かしてその合間に咲く福寿草を見て春の到来を感じていました。今、我が家の庭にもあり、咲くのを楽しみにしています。

私の AP 研副委員長としても担務もあとわずかになってきました。この 2 年間、都合のつく限り、AP 研究会に参加させてもらいました。去年は初めて中国南京、上海を訪れました。昨年 5 月の AP 研の会場は東南大学の敷地内にあるホテルだったのですが、社会主義の時代の伝統で、大学は病院もある 1 つの社会(コミュニティ)だと伺いました。これを見てテヘランのイラン国営放送局 IRIB を連想しました。IRIB 放送局は敷地内に大学を持っており、ここで開催された放送関係の会議では大学の展示コーナーがあったり、学生が参加者にインタビューしていました。イランという土地柄のせいか、警備が大変厳しく建物の写真を撮ろうとしたら厳しく叱られてしまいました。まして会議場以外に赴くことも禁じられていましたが、以前 IRIB から NHK 放送技術研究所に滞在研究していた知人がいて、この人の車で IRIB の敷地を案内してもらったことを覚えています。東南大学では Zhang 教授に南京市を案内していただきました。南京市には TV 塔があるのですが、建設前電波干渉の問題で設置場所について意見が対立していたそうです。Zhang 先生が仲介役を果たし、特定方向のアンテナ利得を下げることで決着させたと言いました。Zhang 先生の誠実な人柄がなせる功績と思います。中国語と日本語では同じ漢字でも意味の異なる言葉がいくつかありますが、上海市で、交通が Communication の意味であることを、恥ずかしながら初めて知りました。上海交通大学は中国の地上デジタル放送方式の 1 つを開発したところですが、前々からなぜ交通大学が通信を研究しているのか不思議でしたが、この時やっと納得がいききました。ちなみに Traffic は何というか中国人の知人に尋ねたところやはり交通というのだと教えてもらいました。

今年 2011 年 7 月 24 日アナログテレビ放送が終了し完全にデジタル放送に移行します。先日テレビを見ていたらネットテレビの特集があり、7 チャンネル全てのワンセグを 24 時間 7 日分(記録容量が大きければ 30 日以上も可能とのこと)を録画し、キーワードで検索して自分の興味のあるテーマ(この時は就職活動)について放送したたくさんの番組から選択して、その途中から見ている人を紹介していました。放送は決まった時間に番組が始まるのを楽しみに待って見るものから、情報源としてデータベースのような使い方に用途を広げていることに驚きました。私も録画しておいて後で番組を見ることが多いのですが、記録したことに安心、満足して結局見ないものも多数あります。その昔、ラジオの語学番組は多忙な時は 1 カ月分くらい録音しておくものの結局テープをためるばかりで聞かなかったことがあります。学習は無理してでも毎日定時に勉強するのがよいと信じて(反省して)います。

先のテレビ番組で紹介された番組の予約録画や詳細情報(内容・出演者など)の検索やニュース、スポーツ、ドラマなど、ジャンルごとの検索のために、デジタル放送では電子番組ガイド(EPG, Electronic Program Guide)が用意されているのですが、この番組で紹介された受信機では字幕放送のデータを使って検索しているのだそうです。字幕放送は耳の不自由な方のために音声を字幕で表示するものです。番組検索に字幕放送が使われることは、字幕放送の開発当初は考えてもいなかったと思います。ずいぶん前ですが、開発した製品、機能が当初想定とは違う使われ方をすることを”折れ曲がり現象“と呼ぶという記事を読んだことがあります。研究成果が実用になるまでには、”死の谷“があると言われますが、このような当初想定していなかった応用の道があることも開発技術の成功要因の 1 つと思います。

先日、ラジオを聞いていたら 1980 年代のポップスの特集をやっていて懐かしい気持ちになりました。ラジオは映像がない分気楽に聞けて、かつ、集中して聴けるのでよいものですね。アジア各国の放送局では、未だにテレビ放送局とラジオ放送局が分離して同じくらいの規模で運営されています。日本ではインターネットがこれだけ発達しているので、一部実現されていますが、早くインターネットでも全てのラジオ番組が聴けるようになるとよいと願っています。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 正源和義 (NHK)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP 研執行部のメールアドレス)

AP-NET : AP 研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録は AP 研 HP にて

AP 研 HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

ISAP Archives : <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

